

ガソリン購入される皆様へ

## ガソリンの取扱にご注意ください！

ガソリンは、取扱いを誤ると大変危険です。これからの季節、アウトドア等でガソリンを取り扱う際は、次の点を確認し、火災を予防しましょう。

### 1 ガソリンの危険性

- ★ ガソリンの引火点は $-40^{\circ}\text{C}$ で、小さな火源でも爆発的に燃焼する物質です。
- ★ ガソリンの蒸気は空気より重く、穴やくぼみなどに溜まりやすく、離れたところにある火源（ライター等の裸火、静電気、衝撃、電気スイッチの火花等）によって引火する危険性があります。

### 2 ガソリンを入れる容器

- ★ ガソリンを入れる容器は、消防法令により、一定の強度を有する材質でなければならず、また、その材質により容量が制限されています。
- ★ 特に、灯油用ポリ容器（20リットル）にガソリンを入れることは、静電気により着火の危険があるため、絶対に行わないでください。



灯油用ポリ容器（20ℓ）



ガソリン用携行缶

### 3 ガソリンを取り扱うときの注意事項

・購入するときや保管するとき

- ★ 消防法令の基準に適合した容器で購入してください。
- ★ セルフスタンドでは、利用客が自らガソリンを容器に入れることはできません。
- ★ ガソリンの噴出に注意すること（容器の圧力調整弁でガス抜きをしましょう）
- ★ 直射日光の当たる場所や高温の場所で保管しないこと。
- ★ 火気厳禁（周囲でたばこを吸う等、火気の使用は絶対にしない）
- ★ 消防法令に適合した容器で保管する場合でも、数量によっては事前に届出や許可を受けなければ保管（販売のための陳列を含む。）や取扱いができない場合があります。詳しくは予防課危険物係へお問合せください。

問合せ先  
薩摩川内市消防局  
予防課危険物係 電話 22-0135